



質問順 3 番

8:30 受

令和 6 年 5 月 2 7 日

若桜町議会議長 山根 政彦 様

若桜町議会議員 (8 番)

中尾 理明



一般質問の通告について

次の事項について、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により質問の通告をいたします。

記

質 問 事 項	質 問 要 旨 (具体的に)	質問の相手
1 介護保険制度について	(1) 若桜町の令和 6 年度介護保険料は、第 6 段階の基準保険料は、据え置き、1 段階から 3 段階までを軽減する一方、所得区分を 9 段階から 1 3 段階に拡大し、1 0 段階から 1 3 段階の保険料を引き上げた。このことについて、保険料が引き上げとなった方々への周知はどのようにされているか伺います。	町 長
	(2) 基準保険料について、5 月 1 5 日の日本海新聞は、制度が始まった平成 1 2 年以来引き上げが続き、制度開始と比べ 2 倍超となったと伝えたが、本町も同様な引き上げを余儀なくされてきたと認識している。同日本海新聞は、専門的見解として、淑徳大学結城康弘教授 (社会保障論) は、「保険料上昇が続けば、高齢者の生活は厳しくなる。国庫負担割合を増やすという抜本的見直しが必要だ」と伝えている。このことについて所見を伺います。	町 長

質 問 事 項	質 問 要 旨 （具体的に）	質問の相手
2 人口減少に打ち克つまちづくりに ついて	（１）４月２４日、人口戦略会議（座長：経団連三村会長）は、「令和６年・地方自治体『持続可能性』分析レポート」―新たな地域別将来推計人口から分かる自治体の実情と課題―として、２０５０年までに、若い女性の減少に伴い人口が大幅に減る「消滅可能性」自治体が全体の４０％超、７４４とし、１０年前「日本創生会議」が出した８９６との比較分析を伝えている。前回同様「消滅可能性自治体」の一つと分析された若桜町であるが、どのように受け止めているのか所見を伺います。	町 長
	（２）平成の大合併の嵐の中、若桜町は、単独で歩む選択をした。私は、そうしたからこそ、全国に先駆けて保育料無償化などの先進的な施策ができたと考える。これからも単独自立、小さくても誇りの持てる町づくりに頑張ることが求められると思うが、所見を伺います。	町 長
3 若桜鉄道構内の 跨線橋について	（１）若桜駅構内に予定されている跨線橋については、本年度予算として、詳細設計費用２０２０万８千円が計上されている。この予算執行はどのように進められているか伺います。	町 長
	（２）５月２５日の日本海新聞文化欄に、日本鉄道保存協会事務局長の米山淳一氏が、「若桜鉄道に敬礼」歴史的景観保存と活用との表題で投稿された。全文は省くが、「先日、全国に誇る若桜駅構内に跨線橋を掛ける話を知った。鉄骨を擬木で覆った仕様。若桜構内は…林業の繁栄を語る貴重な文化遺産。若桜、いや日本の宝だ。歴史的景観を阻害するものは要らない」と記されている。この米山氏の意見について、所見を伺います。	町 長